

土木学会 鋼構造委員会  
合成桁の限界状態に関する調査検討小委員会

---

【活動予定期間】

2006 年 4 月 ～ 2009 年 9 月 (3 年間)

<本委員会は、2009 年をもって活動を終了しています。>

【活動の目的】

国内外の設計基準類と最近の研究成果を詳細に調べ、鋼・合成構造標準示方書小委員会における基準策定のための裏づけ資料や研究データをまとめる。また、標準示方書委員会設計部会で審議が簡潔しなかった項目について、設計指針案の基となる資料を作成する。

【活動状況】

H21.5 以降に以下の活動を行った。

- ・第 12 回小委員会 (報告書よみあわせ) : 2009 年 6 月 30 日
- ・第 13 回小委員会 (発表者による事前打ち合わせ) : 2009 年 9 月 10 日
- ・講習会 : 2009 年 9 月 16 日実施 (参加人数 : 67 名)

【今後の活動計画】

委員会活動終了

【目標成果】

次回の鋼・合成構造標準示方書の改訂の基となる次の資料を作成した。

- ・鋼・合成構造標準示方書の設計計算例
  - ・耐荷力照査 (鋼桁のせん断, 曲げ-せん断相関) に関する調査検討資料
  - ・限界状態設計法で試設計された連続合成桁の破壊シナリオに関する調査検討資料
- これらの成果を報告書としてまとめ、講習会を実施した。

【PR ポイント】

2007 年に制定された鋼・合成構造標準示方書の合成橋梁の実務での活用に向けた検討を実施。その他, 設計計算例のエクセルファイルならびに講習会のスライドは以下の URL で公開中。

<http://se.struct.civil.saitama-u.ac.jp/~str/japanese/members/okui/d-okui.shtml>

【構成委員】

委員長	奥井 義昭
幹事長	酒井 修平
委員	大淵 智弘
委員	郭 暁光
委員	小室 雅人
委員	杉浦 邦征
委員	高木 一彦
委員	利根川 太郎
委員	長井 正嗣
委員	中村 聖三
委員	丹羽 量久
委員	野阪 克義
委員	野呂 直以
委員	平沢 秀之
委員	水口 知樹
委員	村上 茂之
委員	山口 栄輝
連絡幹事	野上 邦栄